

登録No. S-006
 登録名 CPT-11/CDDP療法
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 胃癌・結腸癌・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
I 法							
Rp.1	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.2	イリノテカン 生食	50mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	90min	
Rp.3	シスプラチン 生食	30mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
II 法							
Rp.1	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン	50mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.2	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	100mL/body 4.95mg/body		d15	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.3	イリノテカン 5%ブドウ糖液	70mg/m ² 500mL/body		d1・15	d.i.v.	90min	
Rp.4	ソルアセトD	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.5	シスプラチン 生食	80mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	生食量は適宜調節
Rp.6	フロセミド 生食	20mg/body 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.7	ソルアセトD	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	
Rp.8	KN3号	500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	

1クールの間 Ⅰ法：2週間 or 4週間
 Ⅱ法：4週間

その他（副作用・PS規定等）

Ⅰ法： 外来は2週間に1回、入院は1～2週間に1回
 2週毎投与 or 3投1休（副作用発現時は3週毎か中止）
 副作用：骨髄抑制・下痢
 PS2まで
 イリノテカンとラクテック配合変化あり
 Ⅱ法： 1泊2日の入院必要